

2003年1月8日発行

熊本県地域福祉メールマガジン

月刊「みんなでたのしく輪になって」No. 2

【発行】 熊本県健康福祉部健康福祉政策課地域保健福祉班

明けましておめでとうございます。

創刊号でお約束した「毎月15日発行」のお約束から遅れること約1月。やっと第2号を発行する運びとなりました。「次号からは・・・」新年を機に気分も新たに頑張りたいと思います。

目次

市町村情報

1 山鹿市

2 牛深市

振興局情報

阿蘇地域振興局

お知らせ

1 地域共同推進フォーラム・くまもと

2 第4回日本地域福祉学会九州部会

市町村情報

1 山鹿市

山鹿市の地域福祉計画策定のための組織体制を御紹介します。

(1) 策定協議会

大学教授 施設関係者 医師会 ボランティア代表 婦人会 青年会議所等

(2) プロジェクトチーム(庁内+住民等)

高齢者班 障害者班 子育て支援班 ボランティア班 健康班 福祉サービス班

こども班 男女共同参画班

いきがい推進課、子育て支援課、同和対策課等の福祉関係課の他、市民課、企画課、都市計画課、観光振興課、農林振興課、保険課など幅広く関係課が参加しています。

また、社協や地域福祉住民組織の代表者も参加しています。

(3) 地域福祉住民組織

11月に8つのワークショップを立ち上げました。11月30日に第1回の全体会議及びグループごとの話し合いがもたれ、12月1日付の熊日新聞でも紹介されました。

食べて、動いて、元気でいく隊（健康班）

- ・「栄養」「運動」「休養」という健康の3要素を考えます。

ちょボラ おおボラ 大歓迎（ボランティア班）

- ・ボランティアにできることなどを考えます。

シルバーの輝き120%（高齢者班）

- ・いまの高齢者、未来の高齢者ともに幸福な老後を考えます。

ちょっとまって、いわせて！ きかせて！（こども班）

- ・こどもだからできること、気づくことを探します。

「おとこだけん」「おんなだけん」こっでよかとね？（男女参画企画班）

- ・女性も男性も認め合い、支え合うまちづくりを考えます。

子どもといっしょに育ち隊（子育て支援班）

- ・子育てしやすいまちづくりを考えます。

みーんないっしょにさるき隊（障害者班）

心も体もバリアフリーになるためにはどうしたら良いか考えます。

あったらいいなのあるまち（福祉サービス班）

- ・あったらいいなと思うサービス、場所、人を考えます。

各班20人～40人程度で、中学生、高校生、大学生からお年寄りまで、男性も女性も、ボランティアの経験者も未経験者もあり、参加者は多彩です。各班とも5回の開催を予定しており、成果を地域福祉計画に盛り込む予定です。

（4）広報班

「地域福祉計画策定通信」を発行し、ワークショップへの参加要請や開催結果状況を広く市民に広報しています（11月、12月に発行）。編集発行については住民主体で実施しています。

市町村情報

2 牛深市

牛深市では、平成14年6月に福祉事務所を中心に、総務課、企画課、環境保健課、教育委員会、社協、在宅介護支援センター等からなるワーキングチームを結成し、約10回程会合を開催しました。

9月には、小・中学校7校の教師と児童（各学校代表者）との意見交換会を実施しました。主な議題は「各学校のボランティア活動について」でした。

10月から、市と社協共催による地域福祉座談会を実施し、5か所、309人の参加がありました。主な意見としては、外出支援や高齢者在宅支援のことなどがありました。

1月には、策定委員会を立ち上げ、本格的な計画策定の作業に進んでいく予定です。

振興局情報

阿蘇地域振興局

去る12月17日に、阿蘇地域振興局の主催で、モデル市町村である阿蘇地域振興局管内12町村が集まる「平成14年度第8回地域福祉計画・地域福祉活動計画策定支援会議」が開催されました。

この会議は次の議題で進められ、参加した町村、町村社協の皆さんにより、積極的な議論・意見交換が行われました。

地域福祉計画アンケート調査結果（阿蘇郡全体）

7月1日から7月31日にかけて実施したアンケート調査の分析結果を地域振興局から説明。次の項目ごとに郡内の傾向が明らかにされました。

- 1 家庭・地域生活のあり方について
- 2 福祉行政について
- 3 ボランティア活動について

各町村地域福祉計画素案

今回の会議で、波野村と産山村から地域福祉計画の素案が提出され、概要が報告されました。（郡内全市町村で素案を策定済み）

やまびこネットワーク

隣近所の住民同士、社会福祉を目的とする事業を運営する者、ボランティア等が、生活関連の各分野で、協働して支援を必要とする人の視点に立った支援を行うことが必要であることが改めて確認されました。

意見交換等（ボランティア活動の推進について）

3つのグループに分かれ、「ボランティア登録を推進するための方法」、「ニーズ把握の方法」、「ボランティアコーディネート機能強化の方法」について、議論が交わされました。

[まとめ]

従来から“やまびこネットワーク”として様々な活動に取り組んできたこともあり、それぞれの町村内で住民の生活の視点に立ったサービスが実施されています。また、地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定についても、町村・町村社協が連携し、策定委員会の住民委員を公募するなど、住民参加の手法を取り入れて進められています。

お知らせ

- 1 地域共同推進フォーラム・くまもと

日時；平成15年1月23日（木）13：00～17：30

会場；熊本県立劇場 演劇ホール

内容；(1)地域共同事例報告（熊本県内各地で行われている“ふれあい活動”や“連携”の事例について各団体が映像を交えて発表します。）

(2)さわやかトーク 「ユニバーサルデザインと新しいふれあい社会」

堀田力 さわやか福祉財団理事長 と 潮谷義子 熊本県知事 との対談

(3)交流会（無料）

参加費；無料

問い合わせ先；熊本県社会福祉協議会ボランティアセンター（担当：吉本）

電話 096 - 324 - 5436

さわやか福祉財団 地域共同推進プロジェクト（担当：丹、坪井）

電話 03 - 5470 - 7751

お知らせ

2 第4回日本地域福祉学会九州部会

日時；平成15年2月1日（土）10：10～17：20（9：30受付開始）

会場；熊本学園大学

内容；(1)講演「水俣から学ぶもの」 熊本学園大学 原田正純 教授

(2)分科会1 地域福祉（活動）計画

地域福祉とまちづくり

自由研究発表

(3)分科会2 地域での自立支援

住民参加型のサービス活動

自由研究発表

参加費；1,000円（昼食代含まず。別途500円程度の弁当販売予定。）

学会終了後交流会あり 参加費3,000円

問い合わせ先；熊本学園大学社会福祉学部 小野研究室

電話 096 - 364 - 5161（代表）

熊本県地域福祉メールマガジン

月刊「みんなでたのしく輪になって」 No.2

【発行】 熊本県健康福祉部健康福祉政策課地域保健福祉班

記載内容に関するお問い合わせ、情報提供、御意見、配信の解除、メールアドレスの変更など
一切の連絡は、熊本県健康福祉部健康福祉政策課地域保健福祉班 へお願いします。

E-mail:kenkoufukushi@pref.kumamoto.jp TEL:096-381-8410 FAX:096-384-9870